

● 食べる姿勢 ●

食べるときには、食べやすい姿勢をとることが大切です。不適切な姿勢だと食べ物が気管に入ってしまう、窒息や肺炎を招く危険性があります。基本は全身がリラックスした状態になるよう、関節が適度に曲がり全身がやや丸くなるような姿勢を作りましょう。

ベッドなどで食べさせる (ハイローチェア、座位保持イスなど)

背の角度は体の状態によって起こす。
あごを少し引き、
舌の面が口を開けたとき、
床と平行になるようにする。



姿勢が安定しない場合はタオルやクッションを使い、骨盤、胴体、首、頭の位置を調節する。

抱っこして食べさせる

肩、肘、腰、膝、
足の関節を曲げて
全体が丸くなるよ
うにする。



わきの下あたりで支えて姿勢を安定させる。手が子どもの顔に届くので介助もしやすい。

座って食べる

テーブルの高さは
腕をのせたときに、
肘が直角に曲がる
くらい。



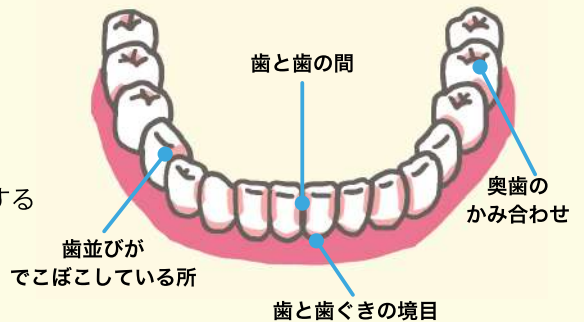
イスの高さは深く腰かけて股関節と膝が垂直に曲がり、足の裏が床にしっかり着くもの。

● 口腔ケア ●

障害によっては歯周病になりやすかったり、歯の痛みを伝えられなかったりする場合があるため、日々の丁寧な口腔ケアが必要になります。健康な歯を保つため、できるだけ早めに口腔ケアの習慣を身につけましょう。

お子さまの 歯をみがくときのポイント

- 眠い、体調が悪い、空腹時などは避ける
- 行う前に声をかけて心の準備をさせる
- フッ素配合ハミガキ剤はむし歯予防に効果的
- 嫌がる場合は、カウントして終わりを予告したり、歌を唄ったり工夫する
- 舌の動きが悪い場合は特に舌と上あごの掃除を忘れない



お悩み別の 口腔ケア用品のご紹介

お口みがき

口の中の粘膜をきれいに
(歯ぐき・舌・上あご・ほほ粘膜など)

食べかすが口の中に
多く残りやすい
お子さまには
スポンジブラシ



うがいが
できないとき
ウエットティッシュ
タイプ



保湿ケア

口の中の乾燥を防ぎ清潔で
健康な状態を保つ

口の中が乾燥して
いるとき
保湿剤



経管栄養の場合

口から食べなくても、歯が生えていれば口の中には数億以上の細菌がいるといわれています。目が覚めているときに、むせたり窒息したりする危険のない姿勢をつくり、歯ブラシの水をよくきって歯をみがきましょう。

過敏症状がある場合

口の周りや口の中を触ると極端に嫌がるような過敏症状があるときは、声かけしながら緊張を和らげ、顔や口の周り、歯肉に手や指が触れることに慣れさせることから始めます。パニックを起こしたりするなど心理的拒否の強い場合は無理に触れるのはやめる、また、できたことはよく褒めてあげましょう。



障害がある子どもにとって治療をするということは大変なこと。
定期検診に行く習慣をつけて、かかりつけの歯科医院をもちましょう。